

プロジェクト調査計画論 (2単位)

担当者氏名 門間敏幸・藤本彰三・杉本隆重・八木宏典・泉田洋一・鈴木充夫・新部昭夫・土田志郎
畑中勝守

◆学習・教育目標

バイオビジネスの専門家として地域農業開発、農村再編、さらには農商工連携などの推進業務に従事する場合、全ての業務は他の専門分野を含めたプロジェクト方式で推進される場合が多い。社会科学系研究者は、こうしたプロジェクトの推進場面では、リーダーとなるケースが多い。そのため、プロジェクト調査計画論では、プロジェクトリーダーとして、プロジェクトの推進業務をこなすうえで有用な理論、技術の習得を目指す。具体的には、①土地を中心とした地域資源の評価調査と利用計画の策定、②地域情報の収集・解析、③地域農業の構造把握と計画作成、④多様な農業経営の調査と計画、⑤農業技術の評価と技術普及方法、に関する理論と手法の修得を目指す。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

<u>バイオビジネス</u>	<u>地域農業</u>	<u>プロジェクト調査計画</u>	<u>資源利用</u>
<u>地域農業計画</u>	<u>農業経営調査・計画</u>	<u>農業技術の評価</u>	<u>農業技術の普及</u>

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	地域資源の評価と計画 (第1～2週)	・地域資源、特に土地を中心とした資源の調査理論・計画手法を修得する(辻 教授担当)。	本授業のねらいは、地域開発や地域農業再編に関わるプロジェクト調査の理論・方法、そして計画策定のための手法を学ぶ。この科目では、大学院生の研究課題に即して指導を行うので、自らが実証を試みる理論・手法について、その考え方を整理して発表できるようにすることが大切である。
2	地域情報の収集と解析 (第3～8週)	・地域農業に関わる様々な情報の収集と解析手法ならびに地域農業情報システムの構築手法を修得する(杉本、鈴木、新部、畑中 各教授担当)。	
3	地域農業の構造の評価と計画 (第9～12週)	・地域農業構造を把握するための調査理論ならびに地域農業計画のための手法を学ぶ(門間、土田 各教授担当)。	
4	農業経営の調査と経営計画 (第13～14週)	・多様な農業経営の調査理論と、経営計画策定手法を修得する(八木教授担当)。	
5	農業技術の評価と技術普及の方法 (第15週)	・地域農業および農業経営の革新をもたらす技術の評価と普及方法について修得する(藤本教授担当)。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

特定の教材は使用せず、必要に応じて資料を配付する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

社会調査に関する著書、資料を読んでおくこと。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

授業への積極的な参加度とレポートで評価する。

◆その他受講上の注意事項

教員から教わるのではなくて、自ら調査・計画理論・方法を創造するという態度で授業に参加して欲しい。

